



★★★★★★★★★★

定期試験と勉強法
中学3年生の皆さんへ
小学生の皆さんへ
中学受験コースの皆さんへ
高校生の皆さんへ

ご案内

冬の集中講義について
冬の集中講義受講生募集(小・中・
高校生) 現在通塾されていない
生徒さん対象

面談のお知らせ

休講のお知らせ

★★★★★★★★★★

期末試験が順次行われる時期です。そして小学6年生、中学3年生、高校3年生にとっては、受験期が刻一刻と迫ってきています。季節は、秋から冬に向かっていますが、気温の上下が激しく体調不良の生徒さんがちらほら見受けられます。体調に気を付けて試験対策を一つ一つ丁寧に仕上げていきましょう。これからは時間との闘いです。集中して取り組みましょう。

定期試験と勉強法

期末試験は、各学校 副教科を含め 全2日間日程で 予定されています。11月第2週第それから第4週と期末試験が予定されています。11月第2週に実施された学校の結果は、少しずつ返却されています。皆さんよく頑張っていると思います。11月第4週に実施される学校の生徒の皆さんも よい結果を出してくれると期待しています。

2学期の期末試験は、試験範囲が広く毎年難易度がグッと上がる試験です。ですから勉強量が必要になる試験です。中学3年生の皆さんは、来年度の高校入試から調査書の割合が高校ごとに明記されています。前期試験では調査書の比重が高くなっています。一番比重が高い高校では8割に上ります。調査書に参照される最後の試験が今学期の期末試験です。このような調査書の割合が明記されたのは、初めてのことです。

中学1・2年生の皆さんは、今のうちから調査書の評価を上げるために定期試験に力をいれておくといいと思います。一回一回の定期試験の点数を確実に上げることが、高校入試を有利に運ぶことにもつながります。中学3年生になってから頑張ればいいのかという発想は、通用しません。

中学3年生になってから後悔しても 始まりません。たぶん中学3年生の皆さんの中には、中学1・2年生の時から頑張っておくべきだったと後悔している生徒さんがいることでしょう。

定期試験は、試験範囲が限られているので、勉強しやすいとも言えます。

ただ勉強している様子を見ていると、なかなか集中できなかったり、漫然と問題を解いているだけだったりしている生徒さんが散見されます。全ての学科において 共通している勉強法は、「暗記」です。数学も解き方を覚える勉強です。そして解くために使うのは、公式です。理科も化学式や組織や天気図など暗記しないといけない場面が、多いと思います。

もちろん 社会や国語や英語は、覚えていないと何一つ答えられません。手っ取り早い暗記法は、問題を何度も解いて、全て正解になるまで繰り返すことです。皆さんの勉強を見て一番時間を無駄に使っている勉強は、教科書をまとめている勉強です。これは 試験前にするべき勉強ではありません。まとめは、作業です。しかも時間がかかる割に頭に入る割合が少ない非効率な勉強です。極言すれば、勉強している気分に陥る作業です。

そしてそのことを忠告すると、不服気にしている生徒さんがいます。たぶんそれがその生徒さんの勉強法だと信じて疑わないと続けてきているからだだと思います。だからこそ点数が伸び悩んでいる原因でもあるのですが、そのことになかなか気づけないのです。

極論すると問題を解ければいいのですから、まずは基本事項を確認し、実践問題を解いて完成度を上げていけばいいのです。実際にやってみると1回目より2回目、3回目と正解数が上がっていくのが手に取るようにわかるので、やりがいもある勉強法です。河竹会で選んで皆さんに使っていただいている問題集は、段階別の構成になっているので、進めやすい内容になっています。今一度よく見てください。

そして集中度を上げてください。やりたくないな～と思いながらやっても効果は上がりません。30分なら30分と決めて、やる範囲や問題数を決めて解きましょう。注意散漫な時は、効果が上がりません。眠くなれば、体を動かして目を覚ましましょう。家で勉強するときは、勉強に入る前に好きな音楽をかけてもかまいません。その音楽が集中スイッチと決めてやり始めることで背中を押してくれます。

ご家庭から勉強の仕方がよくわかってないようですというお声を頂戴することがあります。勉強のやり方は、何度もお伝えしています。実際にこの紙面でもこれまで何度もお伝えしてきています。それでも勉強の仕方がわからないというのは、何が問題なのでしょう？

「実践」するだけの集中力の欠如や点数を取りたい意欲の欠如や嫌なことを避けたいという逃げの姿勢といったメンタル部分に問題があることが多いと思います。「勉強の仕方」より「実行力の欠如」を見ていて感じます。塾でも集中にかける生徒さんは、家庭ではもっとできないと思います。

自分のしたくないことはしないで済まそうというのは、未熟です。我慢ができないのも中学生として少し幼さを感じます。こういう生徒さんは、少しずつ少しずつ改善していくことを心がけていくようにしないといけません。頭ごなしに言っても伝わりません。根気よく促してできたことを認めていかないといけません。しかしそれは大人にとっても忍耐を強いることです。何が生徒さんの心の琴線に触れることなのか？メンタルの問題は、まずよく見ることから始めます。実はその生徒さん自身とても悩んでいることもあります。

中学生は、一番成長著しい時期です。心と体の成長がアンバランスなこともあります。俗に反抗期と言われる時期ですが、自分の理想と現実がかみ合わないことでイライラを募らせることもあります。そういう時に、「勉強しなさい。」「こんな成績で恥ずかしくない？」なんて言っても逆効果です。

中には自分の気持ちを素直に表現できない生徒さんもいます。ただのおさぼりさんもあります。本当に生徒さんそれぞれに課題は違います。保護者の皆様は、まずお子さんをよく見てください。それも「上」から見るのではなく、「横」に並んでみてください。ご自身の中学生の頃を思い出してみてください。何を言われるのが嫌でしたか？どう言われたら救われましたか？自分が嫌だったことは、お子さんも嫌です。

中学生のお子さんにしてあげることができることは、「安心感」を与えることではないかと思います。

妙な話かもしれませんが、カウンセリング時話を聞くのは、相手と90度に座ることが鉄則です。真正面は対立的な位置、90度になるとちょっとずらすこととなります。竹田は経験的に生徒さんと話すときは、90度より180度つまり横に座ると効果的だと感じています。

視線を合わせないことで生徒さんは話しやすくなります。生徒さんは、大人や親は「脅威的」存在です。それを共感的存在にかえることは、支援に感じます。支援は、安心に変わります。安心は、集中につながります。

ぜひ家の中でお子さんの横位置を意識して声かけをするようにしてみてください。もちろん横位置とは、物理的位置というだけではなく心の位置も「横位置」です。

生徒の皆さんは、ゆっくりでも成長しています。成長しなかった生徒さんは、今まで一人も見ることがありません。保護者の皆さんは、イライラしたりハラハラしたりすることが多いと思いますが、一番成長著しい時期です。今が育ちどきです。あと10年後、あの頃が一番大変だったけど楽しいときだったと思える日が来ます。温かく支えましょう。

中学3年生の皆さんへ



夏休みの最後に実施しました模試の結果を返却しつつ三者面談を10月に実施しました。保護者の皆さまにはお運びいただきましてありがとうございました。そして2回目の模試を10月末に実施し、結果はお子さんを通じてご返却しています。面談をご希望の方は、今からでもお申し出ください。学校の三者面談の前に相談したい方は、ご遠慮なくお申し出ください。

11月から日曜日の授業も始まりました。実践的な入試問題を解いています。小テストもバンバン実施しています。そして再テストも授業終了後に行っています。再テストをするとどの生徒さんも必死で覚えます。この

光景は、毎年繰り返されています。皆さんの姿を見ていると、これは本当に身につけていることなのか？と不安に駆られることがあります。いや不安に駆られます。というのは、小テストをクリアして家に早く帰るためにやっているように思えるからです。小テストをしている意味は、一問一答形式で基礎事項を暗記することで、問題を解くための知識を増やすことです。小テストの延長線上には高校入試問題があるわけです。しかしそういう展望をもって小テストに臨んでいる生徒の皆さんがどれほどいるのだろうか？というのが、私どもの不安です。

小テストを始めると問題のやり直しが十分にされません。ただプリントを解くだけで、間違った問題をやり直して、どこが分かっていなかったのか、何が原因で間違ったのか？を十分に見直せないのです。十分に見直せない次回また同じ間違いを繰り返します。これではできるようになりません。

小テストの勉強は、入試問題を解くための最低限の勉強です。それは家庭で十分にやってくるべき勉強です。残って再テストを受けるのは、勉強が足りていません。さらに家でも塾でやった入試問題のやり直しをして、塾に来た時に家庭学習でわからなかった問題を質問するべきです。

このサイクルがまだ皆さんに定着していません。上記のような家庭学習をきちんとすれば、3～5時間ほどの時間を要します。1～2時間ではすることができません。どうぞ自分自身の勉強を顧みてください。今一番勉強しないといけない時期です。この時期を逃すと、限りなく不合格が近づきます。

今は崖っぷちです。でもまだ間に合います。ぜひ十分な時間を取って、ひとつでもできることを増やしていく勉強をしてください。わからないことは、質問してください。あきらめるには早すぎる！！

精一杯努力してよかったと言える合格発表の日を夢見て頑張りましょう。

小学生の皆さんへ

小学生の皆さんは、いつも元気に通ってきてくれています。そして集中して黙ってよく勉強しています。



河竹会に到着すると まず学校の宿題を30分ほどしてもらいます。この学校の宿題をしているのを見ていると、学校で習っていることの習熟度が分かります。高学年の学習は、この時期はだんだん難しくなっています。算数も文章題や平均の考え方、ひっ算の割り算、少数のかけ算、割り算など 数学的な考え方を必要とする単元が 学年によって違いますが、出てきます。数学的な考え方や理論的な思考は、ことばから入ってきます。問題を解いていると、考え方がわからないというより文章が意味することがわ

からない生徒さんがいます。

意味を理解しないので、足し算か引き算かの判断ができません。中には 考えもせず、足してダメならかけてみる、それでも違うなら 引いてみる ということをやっている生徒さんがいます。これでは解けても偶然です。根本的に理解できたとは言えません。

小学生の問題は、国語と算数が絡み合っている問題です。もっとも恐ろしい解き方(解き方といえるか?)は、文章を読まずに解くことです。面倒で 読まないで解く生徒さんは、意外と多いのです。

そして ざーと目を通す程度の読み方の生徒さんも います。一つ一つ言葉の意味を理解して読む習慣が欲しいと思います。河竹会では、漢字を間違えたときは 必ず意味を説明して覚えてもらうようにしています。意味が分からず漢字を覚えても すぐ忘れます。意味が分かると 浸透するので、次に出てきた時、思い出しやすくなります。

安易に「わからない」と思わせるのではなく、説明をすると 定着につながります。語彙力は ぜひ増やしてほしいと思います。さらには その言葉を使って文章をつくることも 理解力を身に着ける助けになります。

河竹会では、作文に力を入れています。何度も書き直しをさせます。きちんと原稿用紙の使い方をマスターして 書き言葉で、筋道をたてて書くことを指導しています。

これができると 読解力も身につけてきます。地道な勉強を続けることで、総合的な学力が身に付きます。来年度から 中学生の指導要領が変わり、学習ボリュームが増える予定です。

これまで以上に小学生で習う基礎学力は、ぜひ小学生のうちに身につけてほしいと思います。中学生で成績不振になる生徒さんのほとんどの原因は、小学生で習う単元の習熟不足です。

小学生の学習を侮ると 将来に不安を残します。そして 学習習慣を身につけましょう。

小学6年生の生徒さんは、国語を終了し、英語へ指導教科をシフトし始めています。小学校で英語は始まっていますが、ライティングや暗記することは、まだなかなかできていないと思います。中学校の試験では、書けないと厳しいので、中学校で習う英語を前倒して、指導していきたいと思っています。

中学受験コースの皆さんへ



中学受験コースの皆さんは、日々課題と格闘しています。粘り強く取り組んでいます。

小学6年生の生徒さんは、受験日が近づいていますので、通塾日数を増やして頑張っています。受験が近づいてくると臨場感が増してきます。しかし緊張してもリラックスしても受験日は、確実に近づいてきます。一日一日やるべきことをこなしていくことで自信がついてくるものです。最後まで頑張りましょう。

小学5年生の皆さんは、入試まで1年余りとなります。基礎事項をしっかり学んで習得したい時期です。皆さんは、難しい問題によく取り組んでいます。学校の問題と違って悪

戦苦闘しています。特に登場人物の環境や状況から考え方を表現する問題に皆さん苦勞しています。中には考えてもわからないと決め込んでいる様子が見受けられることがあります。実は 文章の中に ヒントとなる言葉がちりばめられているのですが、そういう表現に気が付かないで ただ文字を読んでいるだけということがあります。

読み取って 想像して こうかな？ いやちがうかな？と 試行錯誤することも 大事な思考過程です。間違ふことを恐れずに たくさん間違いながら、正解に近づくプロセスを経験してほしいと思います。

そうするうちにだんだん読み取る力が、ついていきます。粘り強くあきらめないで取り組みましょう。わかった時に、なるほど！と思えるほど考えつくしてみましょ。

さらなる努力を期待しています。

高校生の皆さんへ

大学入試が大きく変わろうとしている今年度です。なかなか予想しづらいところ。しかし当初のように英語の外部試験の導入や、記述式の問題の導入などが先送りされたので、あまり変わり映えのない共通テストになるというのが、大筋の考え方です。

しかし その中で 一番変わる可能性があるのが、英語と言われています。リスニングの配点が増え、長文のボリュームがアップすると言われています。より実践的に 多くの英文を読み解く力を要求される問題にシフトすると言われています。



高校3年生の皆さんは気になる場所ですね。

来年度の大学入試を経て、現在の高校1・2年生の皆さんが、受験する内容は、もっと変わってくるのが予想されます。できるだけ心配なく受験するためには、やはり学力をつけることです。そして もう一つの方法としては、定期試験の成績を確実に上げて、推薦入試や 総合試験を目指すことです。

高校の学習は、気が抜けません。継続的に コツコツと勉強することが大事です。試験前だけという勉強では、間に合いません。国公立大学の入試は、試験科目が多いので、高校3年生になってからでは間に合いません。

また河竹会に常駐している先生にも 横について指導してもらうようにしています。生徒の皆さんの横に一定時間ついて皆さんの学習状況を見てもらうようにしています。ちょっと緊張するかもしれませんが、見てもらうことで もっと効率的な方法を教えてもらうこともできると思います。アドバイスが欲しいときや わからない時は、遠慮しないで聞いてください。皆さんの成績アップにつながる指導を心がけています。

ご案内

冬の集中講義について

冬の集中講義を以下の日程で実施します。都合の悪い日の時間帯などご相談がありましたら、お問い合わせください。ご兄弟姉妹・お知り合いの方で冬の集中講義のみ受講希望の方は、お電話でご連絡ください。

高校部は、映像授業の冬期講習があります。受講を希望する生徒さんは、どの映像授業を選択するか相談の上、決定します。希望する生徒さんは、申し出てください。

なお12月は冬の集中講義実施のため、月謝が通常月と異なります。下記ご参照ください。お間違えのないようお願いいたします。

〔12月月謝〕

小学生	19500円	中学1年生	29500円	高校1年生	29000円
中学受験コース	36500円	中学2年生	29500円	高校2年生	29000円
		中学3年生	36500円	高校3年生	29000円
				(高校生は通常月と同じです)	

〈小学部・中学部〉

学年	期間	時間	科目
小学生	12月26日(土)～1月6日(水)	① 午後1:00～午後3:00	算・国 (学校の宿題)
		② 午後3:30～午後5:30	
中学受験	12月26日(土)～1月6日(水)	午前9:00～午後3:00	算・国・理・社
中学1年生	12月26日(土)～1月6日(水)	午後6:30～午後9:30	英・数・国・理・社
中学2年生	12月26日(土)～1月6日(水)	午後6:30～午後9:30	英・数・国・理・社
中学3年生	12月26日(土)～1月6日(水)	午前9:00～午後3:00	英・数・国・理・社

*小学生は、①または②の時間帯のどちらかを選んで受講してください。

*中学3年生の12月31日～1月3日までの授業時間は、午前9:00～午後1:00までとします。

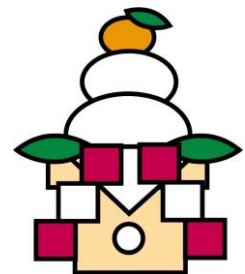
*中学受験コース及び中学3年生の生徒さんは、お昼の用意をしてください。または昼食を準備する程度のお金を持たせてください。外出はできません。

*1月1日(金)は全学年休講です。詳しくは日程表をご参照ください。

【学年別日程表】

		12月											
		14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
		月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
小学生	通常授業	通常授業	通常授業	通常授業	休講	休講	休講	休講	通常授業	通常授業	通常授業	通常授業	通常授業
中学受験													
中1													
中2													
中3													
高1													
高2													
高3													

		12月						1月					
		26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6
		土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
小学生		○	×	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○
中学受験		○	○	○	○	○	○	×	△	△	○	○	○
中1		○	×	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○
中2		○	×	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○
中3		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
高1		○	×	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○
高2		○	×	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○
高3		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○



* △中学受験コースの小学6年生以外は、1月2日(土)、3日(日)は休講です。

～高校生の皆さんへ～

高校生の冬の集中講義は、特に設けていません。通常授業です。映像授業を選択している生徒さんは、午前9:00～午後9:30までの間、いつ受講しても構いません。

冬休み中のみ映像授業を受講したい皆さんは、問い合わせてください。

高校1・2・3年生対象

冬期講習講座

上記期間中は、高校生の授業は、**午後6:30～午後9:30**(中学生の授業に準じます)となります。

なお 上記カレンダー日程中 休講となっている学年も 勉強しに来て構いません。その際 映像授業を受講することもできます。

冬の集中講義 受講生募集(小・中・高校生) 現在通塾されていない生徒さん対象

お知り合いや ご兄弟・姉妹の方で 冬の集中講義受講を希望される方は、お電話にてお申し込みください。
下記受講料は、全て教材費、消費税込みの金額です。現在通塾されている皆さんの受講料ではありません。

＜受講料＞	小学生	9500円	
	中学1・2年生	14000円	
	中学3年生	定員に達していますが、冬の集中講義以降入会される場合は、検討しますので、お問い合わせください。	
	高校生	35000円(映像授業の選択教科によっては追加授業料が発生する可能性があります)	

面談のお知らせ (全学年希望される保護者さま)

全学年の生徒の皆さんの保護者さまの中で、面談を希望される方は 面談を実施します。中学3年生の保護者さまで学校の面談がある前また あった後の相談などや推薦の相談が、ございましたら、お手数ですが、お電話で お申し込みください。

また 小学生・中学1・2年生の保護者の皆さまの中で、面談を希望される方は、必ずお電話で面談時間の予約を取られてください。よろしく願います。面談ご希望の方は、お電話か Line からでも結構です。

休講のお知らせ

12月17日(木)～12月20日(日)まで休講させていただきます。

1月11日(月)は、祝日のため休講させていただきます。



もう冬の集中講義のご案内の季節になりました。そして全国的に新型コロナウイルスの感染者数が、増えてきています。長崎は全国的に見て少ない方ですが、感染された方は、ほぼ感染数が多い地域へ出かけて帰ってきたとの報道が出ています。十分気を付けて過ごしたいものです。手洗いや消毒、マスクといった基本的な防止策は守りたいと思います。検温も必ず実施しています。少しでも体調が悪いときは、無理をしないでください。特に受験生の皆さんは、十分に体調管理をお願いします。保護者の皆さまは食事や学習環境などご配慮いただくと助かります。私どもも十分に気を付けていきます。河竹会始めて以来今年の冬の集中講義は元旦を休みます。体調に配慮しました。入試まで気を抜けない日々が続きますが、乗り切っていきましょう！

河竹会

〒851-2102

長崎県西彼杵郡時津町浜田郷6-2

TEL 095(881)2124

E-mail

information@coachkai.com

一人一人の未来を考える学習塾

河竹会ホームページ

<http://coachkai.co.jp/>

JAMBO 河竹会 WEB

<https://coachkai.co.jp/jambo/>

下記ユーザー名、PW を入力ください。WEBでこのJAMBO 河竹会を見ることができます。

ユーザー名 jambo

パスワード 2124



LINE@のご案内

よろしければ登録は、←QRコードから願います。